

令和元年度第1回 横浜市広報企画審議会会議録	
日 時	令和元年9月6日（金）14時00分～16時00分
開催場所	市庁舎5階 関係機関執務室
出席者	伊藤 有壱、片桐 朋子、加藤 直裕、川井 節夫、佐々木 茂雄、佐藤 潮、 佐藤 華名子、嶋田 充郎、杉本 ひろみ、塚原 泉、林田 育美、春名 義弘
欠席者	柴田 典子、トルオン ティ トウイ チャン、吉富 真里
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	1 会長・副会長の選任について 令和元年度の会長は加藤直裕委員に、副会長は伊藤有壱委員に決定 2 横浜市ウェブサイト リニューアルと今後の取組
議 事	（事務局） （事務局から横浜市ウェブサイトのリニューアル概要と課題、今後の取組について説明）
	（加藤会長） まず、リニューアル後の横浜市ウェブサイトを、パソコンやスマートフォンで御覧になった際の感想や意見をお聞かせください。では、順番に嶋田委員からお願いします。 （嶋田委員） 以前はウェブサイトについていろいろと注文させていただきましたが、今は情報を検索する時に特にストレスを感じていません。自治体のウェブサイトアクセスする際には、皆さん（それぞれに）目的があるので全てが問題ないとは決して言えませんが、私の場合は、イベントや生活情報を検索した際に、以前は「あれっ」と思っていたのが、今は非常にスムーズ。行政（のウェブサイト）との比較ではありませんが、様々なウェブサイトを利用・比較しているユーザーの目線から言うと、あまりストレスが無いと思っています。 （杉本委員） まず、以前は様々な項目がトップページに並んでいたもので、どうアプローチしていいか迷う方が多かったのではないかと思います。新しいウェブサイトはすっきり感というか、きれいな形になってきていると思います。また、スマートフォンに対応したことは、外国人にとっても非常にストレスが少なくなったのではないかと感じています。 実際に使って、例えば「多文化共生」や「国際交流ラウンジ」を探すときにトップページの各言語から入るケースと、市の政策から探すケースとありますが、市の政策から探すとなかなか辿り着けないという感があります。例えば、日本人の方でも多文化共生や国際交流ラウンジの活動を知りたいという方にとって、どういう見せ方がいいかと考えております。もう少し簡略化してうまく辿り着けるとよいのかなと。 それから、私は子育て支援関係に携わっていますが、外国人の方の子育て支援について打合せをしたときに、母子手帳をどのように検索できるか調べてみましたが、説明が文字ばかりで、外国語版の説明があっても、画像やイラストは全くありませんでした。母子手帳を知らない外国人の方にと

って、文字を読むだけでイメージが伝わるのかなと思いましたし、担当の方も説明しづらいのではないかと感じました。今後のデザインなど検討の中で取り上げていただけるかと思いますが、画像やイラストをうまく使って「見える化」するとウェブサイトも大変充実したものになるのではないかと考えております。

それから、緊急時のことですが、以前外国人の方とお話ししたときに、大阪北部の地震の時も **Twitter** でたくさんのツイートがあつて、何が本当の情報かわからなかったという意見が横浜在住の方からも出ていました。今回の（市ウェブサイトの）改正で（緊急情報用の）枠を作るのと、緊急時にページ自体を入れ替えることは、外国人の方にもわかりやすいので、「ここを見てください」と言い易くなったと思います。

「赤枠」というのは、緊急時に赤枠が掲載されるということでしょうか。

（塚田課長） はい。（避難）勧告を発令したようなときのみ、赤枠が出ます。

（杉本委員） 川崎市は外国人が多い都市ですが、トップページに常に赤枠が出ています。「何かあったときにはここに情報が入りますよ」というのが書いてあります。市民も含めて、ここに出るのだなと理解が進むのかなと思いました。また、海外向けページが多言語ページに入っているのですが、トップページにあった方がよりPRになるような気がします。御検討いただければと思います。

全般的には、とてもいい方向に行っていると思いますので、アンケートにもあったように市民の方が、何（の情報）が欲しいのか、在住の方が何を求めてウェブサイトを見ているのかという目線を忘れないで欲しいと思います。

（加藤会長） ありがとうございます。私からの質問ですが、緊急時・災害時に赤枠が出る際の基準はありますか。例えば、警報が出たときとか土砂災害警戒情報が出たとき、レベル4に達したときなど、基準についてはいかがですか。

（塚田課長） 初動時の場合には、危機管理室の方で出します。危機管理室で必要と判断した場合に出しています。

（加藤委員） 危機管理室での判断で、出すか出さないかという基準になっているということですね。それから、杉本委員から、（目的の情報へ）辿り着くまでに何度もクリックしないといけないという意見がありましたが、ウェブサイトづくりの大変さというか、なぜそうなるのかというところを伺えますか。

（塚田課長） 階層が深い点は、他の方々からも御意見をいただいています。目次があると項目ごとに辿り易いのですが、インデックス（目次）のページについて、2ページあるものを1ページに縮めるといったことができますと思います。良い例の部署もありますので、全庁的に周知して、少しでも階層を抑える方向で進めたいと考えております。

(加藤会長) ありがとうございます。画像やイラストの活用については、後ほど2つ目の（ユーザビリティ）向上のところで議論したいと思います。塚原委員、いかがですか。

(塚原委員) 資料と御説明で、ウェブサイトが易しくわかりやすく見やすく、ユニバーサルデザインを取り入れて、市と区のページを連動させていることが、とてもよく理解できました。実際に使ってみても、市と区のデザインが統一されていて18区同じトップページやインデックスになっているので、すっきり感があるし、分かりやすいなという感想を持ちました。感想を様々な所でインタビューしてみましたが、杉本委員と同じで、地域子育て支援拠点（のページ）に辿り着くまでに6回クリックしなくてはならなかったとか、新設保育園の情報は何回クリックしたとか。やはり何回かクリックが必要ということとがありました。

それから、ワードを知っているから辿り着けるけれど、他都市から横浜市に引っ越して「親子でどこに出かけたらいいのだろう」というときになかなか地域子育て支援拠点がイコールとなっていないので、（ワードの記憶が）ぼんやりとした人にとって、ユーザー目線でどう分かりやすく伝えていくのが今後の課題の一つだと思いました。

それから、せっかく仕組みとしてオープンデータ化も含めて揃えていることが、各区のスタッフに伝わっていないと感じます。いろいろとクリックしてみたのですが、（各区）それぞれに特徴があって、青葉区は（地域子育て支援）拠点に情報が集まっているという判断で、トップページに拠点のバナーを貼ってリンクをクリックできるように工夫してあります。全体を通して、誰がどんな情報を、どんなタイミングで統一的に貼っていくか、判断が難しいとは思いますが、必要になってくると思いました。それから、ネット利用者の目でサイトを見るために、他都市ではウェブマスターのようなものを用意して、ユーザー目線の専門家の意見を入れる専門委員会もあります。（ウェブサイト）改善（検討）委員会のメンバーに子育て関係の方がいないので、例えば「子育て・教育」に飛んで、「便利メニュー」を見つけてさぞや便利かと思って飛んでみたら、すべての文字が縦に二文字ずつ並んでいる（ページ）があって、残念というのがありました。これからの進化に、期待しています。

(加藤会長) ありがとうございます。続いて林田委員お願いします。

(林田委員) 私も、他の委員と同じような意見です。リニューアルして割と早い時期にウェブサイトで自分の施設（つづきMYプラザ）を探しましたが見つからず、都筑区役所に「どこにありますか」と電話をかけました。どこから入っていけば「つづきMYプラザ」に辿り着くのかわかりませんでした。外国人の方が見てすぐにわかるように、トップページのどこかにあるのでは

ないかと思ったのが間違いでしたが、日本語以外の言語に変えてみたらますますわからなくなりました。カテゴライズが思いがけないカテゴライズになっていたというのが、いろいろとやってみた結果でした。つまり、カテゴライズされている最初の入口の数が少ないので、非常にすっきりしている分、探す時にかなり想像力を働かせないと目的の情報に辿りつかなかったというのが実情でした。ただ、リニューアルした当初と比べると少しずつ進化していると感じます。例えば、トップページの写真がいつまで経っても桜（の写真）から変わっておらず、「担当者は何をしているのだろう」と思ったのですが、そのうち写真が増えてきて、徐々に変化していることを感じました。

もう一つ使ってみた印象ですが、旧サイトは確かに使いづらい部分がたくさんあったと思いますが、案外、区長とか都筑区で働いている方たちや、区で活動している人たちとか（の姿）が、ホームページを通して区民に見えるというのが印象でした。これが格段に減ったと思っています。これもすっきり感の一方で、なんとなく人が見えない。これがホームページに必要なのかという議論があるかもしれないですが、自由意見にあったとおり、区の独自性にも重なる部分があるかと。あまりにすっきりさせすぎると、どんな区なのかということが見えなくなるような気がしました。

とは言え、これは少しずつ進化させて最新の情報はもちろんのこと、ホームページに辿り着いた方が、何かホームページを通して区あるいは横浜に魅力を感じていただくという役割もあるかと思いますので、良い形で更なる進化を期待しているところです。

（加藤会長） ありがとうございます。カテゴライズを大きく4つに分けたと思うのですが、何か基準があれば教えてください。

（塚田課長） 分野については、他都市の状況やページを分けたときにどういう形がわかりやすいか考えてきた経緯があります。多過ぎてもかえって混乱してしまうということを考えて、現状にたどり着きました。

（加藤会長） ありがとうございます。では、春名委員お願いします。

（春名委員） 大変充実して、配慮が行き届いているという気持ちがありますが、すっきり感の一方で個性が薄くなってしまったかと思います。特にフロントページで横浜らしさをもっとアピールできます。フロントページを見るのは横浜市民だけでなく、海外の人かもしれませんが、面白そうだなと思って見てクリックしていくと、一種のシティセールスの役割があるはずですが、これ（市のウェブサイト）はすっきりし過ぎて、行政情報を知るにはいいでしょうが、たまたま横浜を調べてみようかなという人には魅力がどうか、という感じがあります。我々は必要に応じて調べますが、必要はないが見てみようかなという人には、少し物足りないかと。（ページを）進んでいけば、充実していますが、フロントページの仕掛けの部分が弱いので

はないかと感じます。

私は、気に入っているページはブックマークして会社や家で開きます。「横浜市のページは毎日チェックしないといけないよね」となるようなページにしてもらえたら、もっと良くなるのではないかと思います。

(加藤会長) では、片桐委員、お願いします。

(片桐委員) 好みの問題もあると思いますが、私の第一印象としては、すっきりした一方で少し硬い印象を受けました。字体のせいかと思ったこともありましたが、アンケートにもあったとおり行間が広い。情報が多くないけれど1ページが終わってしまうページがあり、そこは構成のバランスかと思いました。私共の会社も、すっきりさせるために（色の使い方が）同じトーンになるのですが、ブルーが基調となると、少し寂しい感じもすると思います。とはいえ、メインカラーであったりもするので、そこでバランス的にどのような色や画像を使うかで大分印象が変わってくるかと思っています。大きくデザインを変えるのは難しいと思いますが、差し色にどんな色を使うかで大分印象が変わるかと思いました。

（ウェブサイトは）ユーザーによって、まずどこに辿り着くのか、どんな情報を出すべきか異なると思うので、ページによって少し個性を（出すといい）。内容重視でわかりやすいページか、パッと見たときの親しみやすいページがいいのか、今後御意見を交換されながら整理するといいのではと感じました。

(加藤委員) 弊社もトップページのPV数をすごく気にしますが、改めて、横浜市のトップページにこだわった部分というか、議論を重ねてこうなったという背景をお聞かせいただけますか。

(塚田課長) 以前は様々な色を使って、見た目は華やかですがごちゃごちゃしていました。トップページはあくまでカバーページで、そこから中に入っていたくと考えていますので、横浜らしい色使いで、今までと違ったすっきり感を出すということを念頭に置きました。

(加藤委員) 字体でこだわった部分はありますか。

(塚田課長) 文字の大きさについては、小さくならないよう考えています。字体は硬くならないように考えてきました。

(加藤会長) では、佐々木委員お願いします。

(佐々木委員) 会長が冒頭おっしゃったように、旧ウェブサイトについて話し合ったときに、基本的にボランティアと市民活動家は違いますが、（ウェブサイト）市民活動家（向けの情報）しかなかったので、ボランティア活動をする人（向けの情報）も入れて欲しいと希望したので、今回それを期待して見ました。しかし、市民活動については、市民活動支援課のページが出てきて「おお」と思ったけれど、ボランティアのことは何も出てこない。全て社会福祉協議会など外部のサイトへ飛んでしまいました。人数は市民活動家

もボランティア活動家も同じくらい。ボランティア活動家の方が多いのではないかと思います。同じ市民としてボランティアを認識して、どこかに入れていただきたい。管轄している部署があるはずなので、再度お願いということでぜひ検討していただきたい。

(加藤会長) では、今の佐々木委員の御意見に対して、何かございますか。
では、佐藤委員お願いいたします。

(佐藤(潮)委員) 私は横浜で生まれて横浜で育って、何も困ったことが無いですし、自治会や区役所から情報を得られます。そのため、初めてウェブサイトを開いてみました。1ページ目の絵がすごくきれいだ、印象に残りました。ウェブサイトについて資料を読ませていただき、よくできているなど。アンケートもプラス要素も多く、これからあちこち眺めてみようかなと思っているところです。

(佐藤(華)委員) 規模は全く違いますが、弊会もちょうどリニューアルをやっていて、見る方の多様さも違いますが、これだけの量を整理するのは大変な御苦労だったと思います。前のホームページと比べて見やすくなりました。デザインがすっきりするというのはいろいろなデメリットもあるのですが、初めて見る人にとっては、整理されて見やすいという印象で、いいと思います。私は市内在住・在勤ではないので皆さんとは見方が違うのかなと思います。住んでいる(都内の)区のホームページに比べれば、横浜市の方が考えられていて見やすいです。

その中で、自治体のホームページを見るときには、目的別になっていて見易い一方で、アンケートにもあったように組織を少し理解している人たちには、少し検索しにくい場合があるかなと。私は全体を見たいので、どこに連絡したらよいか組織図を最初に見ます。ですが、横浜市(のウェブサイト)を見たときに組織図が見つからなかったのが、検索を使って探しました。年代ごとにウェブサイトの使い方も探し方も違うと思いますが、段々年代が下がるにつれて検索を使う人が多くなると思います。(検索をする人にとって)検索(窓が)あれば、何かキーワードを入れれば情報が減るように(辿り着きやすく)なるのかなと思います。自治体によって各部署の組織図や連絡先の一覧がどこかにしているものですが、個人的な意見かもしれませんが、(組織図が)トップページにあると全体の把握ができるかと。生活者よりも事業者の方が見る場合かもしれませんが。それから、(デザインなど)統一したために区ごとの個性が無くなってしまっているのではないかと、区の独自性という意見も出ていますが、全ての区(のページ)を拝見したところ、各区の(ページに)ラインが入っていて、色が同じなのかと思えば違うものもあって。これは区ごとに色を選ぶのですか。

- (塚田課長) そうですね。区ごとに色は変えています。青葉区だから青とか。区ごとに
変えています。
- (佐藤(華)委員) それは区の要望どおりに色を(決めたのですか)。
- (塚田課長) もちろん区の意見も伺った上で(決めました)。
- (佐藤(華)委員) その色は区で決めたのですか。
- (塚田課長) 区が選びますが、アクセシビリティの観点から6色しか選べないので、そ
の中で区にふさわしい近い色はどれかと選んでもらっています。
- (佐藤(華)委員) 全部(の区)を比較する見方をする方はいらっしやらないと思いますが、
(色を選ぶことで)区ごとのカラーを出しているのかなと感じました。統
一されているデザインだと区ごとの個性が見えない、人が見えないという
点には共感するところなので、統一しつつも創意工夫するといいと思いま
した。あと、スタートラインに立ったところかと思います。これからの運
用にかかっているかと思いますが、すごく大きな組織なので取りまとめが
大変かと思います。(ウェブサイト)改善(検討)委員会も組織されるとい
うことなので意見抽出が非常に大事になってくるかと思います。
各課にウェブの責任者はつけているのですか。
- (塚田課長) 各区局でサイト管理者を設けています
- (佐藤(華)委員) それぞれの各課では設けているのですか。
- (塚田課長) 課ではサイト管理者は決めていませんが、区であれば区政推進課がほとん
どですが区の管理をしています。最終的に統括しているのは我々です。
- (佐藤(華)委員) 実際にページを作るのは各課ですよ。
- (塚田課長) そうです。各課の職員が作っています。
- (佐藤(華)委員) おそらく実務をやる方が一番この意識を持っていないと、古い情報が載っ
ていることもあるので。各課の作業される担当者の意識の取りまとめ、意
見抽出が今後重要になってくるかと思いますので、是非いい方向にいかれ
ることを祈っております。
- (加藤会長) ありがとうございます。続いて川井委員お願いします。
- (川井委員) 私は全然聞こえません。だから、ウェブサイトは非常にあちこち見て回っ
ています。明後日ズーラシアで障害者の災害訓練があります。私、難聴協
会(に所属)ですが、横浜市の難聴協会では、18区ごとに区と交渉しなが
ら災害対策をしていこうと思っているため、明後日の訓練を参考にしよう
と思っていましたが、災害訓練の中身が分かりません。訓練のお知らせが
(ウェブサイトに)なくて何もわからない。過去の災害事例を見て意見交
換しようと思い南区のホームページを見たけれども、よくわからなかつ
た。事例はありましたが、平たいというか、災害かなという程度の災害し
か書いてなかった。それを見て床屋のマスターに災害対策を立てたいのだ
けれど、過去横浜市でどんな災害があったかわからないという話をしまし
た。そうしたら、マスターから「この辺も影響を受けたでしょう」と言わ

れました。

我々の団体は健康福祉センターでよく会議があつて、会議後災害で帰れなくなってしまったということがありました。家に帰れたのは12時過ぎ。そのとき要約筆記者から色々情報を得て遅くなったけれど帰ることができたという話を聞きました。(床屋の) マスターに3.11の南区の情報はどんな情報かと聞いたら、堀割川の川底が見えたという話を聴きました。(南区のウェブサイトに掲載されている) 災害事例に無かったので印象に残りませんでした。だから、具体的な事例があると我々の生活の参考になって討議ができると思いました。

それからもう一つは、障害者制度改革で、合理的配慮ということが叫ばれました。新聞やテレビでは、あまり報道されていません。国連の障害者の権利条約を批准したというニュースがあつたはずですが、新聞もテレビも(なかった)、ウェブではありました。社会福祉協議会のようなところで話は出しましたが、国全体としては何も波風がなくて残念でしたが、あつたのはウェブだけ。なので、もっとウェブを身近なもの、何かあつたらさっと見るようにしたいので、見やすく検索をうまくできるようにすることが重要かと思いました。

(加藤会長) (時間の) 残りも少なくなってきましたので、一度締めさせていただきます。よろしいでしょうか。最後に、伊藤副会長からお願いできますでしょうか。

(伊藤副会長) 主にスマートフォンからいくつか検索など試してみました。

当事者ということで横浜市からの受託事業である東京藝術大学の公開講座に辿り着くかやってみたのですが、中々辿り着くことができませんでした。メニューに入ってから検索を使うと辿り着く率が高かったのが、スマートフォンのトップのところに検索メニューが出てくると迷いが少なくなるのかと思いました。全体としては整理されているという印象を受けましたので、膨大な作業、お疲れ様でしたとっております。

トップに出てくる写真・画像も可能であればなぜその写真を選んでいるのか、その写真の情景が何を説明しているのかキャプションとよばれる短い文章、例えば「ガーデンネックレスが開催」ですとか「台風の季節ですから気を付けましょうね」みたいな文字がスライドして見えてもトピックスとして効果があるのではと思いました。写真が数点スライドして移動していくので、その情報が文字によるトピックのいくつかのものを掲示していくという役割も果たせるのではと思いました。もう少し読み込んで勉強していきたいと思っている状態です。

(加藤会長) リニューアル後の横浜市のホームページについてたくさんのご意見を賜りましたが、さらなる使いよさ、横浜市をアピールできる色々なアイデアについて御意見をいただきたいと思います。

先程、杉本委員から画像やイラストの活用について御意見がありました

が、画像やイラストを活用するとホームページが重たくなる、機能がスムーズさに欠けるというところがあるのでできたりすると思うのですが、リニューアルにあたって工夫された部分や検討した部分はありますか

(塚田課長) 画像について、CMS というテンプレートの中で簡単に入力をすることができますので、文字になりがちな部分があるのですが、表や画像を使いながら見やすいページにこれからなっていくのかと思います。アクセシビリティの対応が重要で、今までは画像を音声読み上げする際に代替テキストがないと「画像」としか読みませんでした。今回は、画像を掲載するときには代替テキストを入れる項目に何の画像なのか説明をきちんと入れていくということで、一つ進むことができたと考えています。

(加藤会長) 他に見比べたときにこんな工夫ができるのではという御意見はありますか

(加藤会長) 片桐さんお願いします

(片桐委員) 生活している市民の方が見た場合と、観光とか外からいらっしゃる場合と印象や見たい内容が違ってくるかと思います。現状は、どちらかと言えば市民の方向けかと思うので、アクセシビリティの面もありますが、トップにキャッチなものがあると魅力的に映るのではないかなと。また、ウェブサイトだけでなく広報のところでも、市長がどんな活動をされているのかわかることがあります。直近の活動が分かるものが掲載されてもいいのではと。いつも（市長の）お写真が同じなので、今市長がどんなことを取り組まれているのかということが追っていかないと分からない部分があります。多方面になされていることも多いので市長の活動を出されるのも、横浜市としてはいいのではないかと。同じ女性なので関心があるというのと、お会いする機会もあるので余計感じますが、魅力の一つになるのかなと思います。特に力を入れている直近の写真が出てくると関心も持たれるのではないかと感じます。

(加藤会長) 塚原委員いかがでしょうか

(塚原委員) 自治体ホームページランキングを見て、神奈川県で相模原と厚木が上位5位に入っています。訪ねてみると、イラストや映像、バナーがあってすぐ飛びやすいとか各部局が魅力的なサイトをすでに作っていて、そこに飛べば分かるという仕組みがうまくできています。規模が横浜市と違うので、横浜市ならではの難しさを考えると、これからは区に大いに期待したいと思います。今日のお話も伝えさえていただいて。区もたくさん努力してほしいなと思います。

(加藤会長) 女性の佐藤委員いかがでしょうか

(佐藤（華）委員) イベントカレンダーに検索をつけるということでしたが、今のカレンダーに機能がつくということですか。

(塚田課長) 新しいウェブサイトイベント情報を一覧で掲載していますが、子育て関

係など、その中で検索できる機能をつけます。カレンダーの中で自分が知りたい情報をキャッチできるような検索機能を今年度中につけます。

(佐藤(華)委員)

生活する方にとっては、今回のリニューアルで各段にアクセスしやすくなったと思いますが、一歩先を見て、シティプロモーションという観点でいえば、(市のウェブサイトは) イベント情報や観光情報の入口になっていると思いますが、その充実が次の段階になるかもしれません。一つキラコンテンツとなるものを作っておけば、さらにアクセスする層が広がるのではないのでしょうか。イベント情報というのは、その街を知るために市外の方々がよく見るところなのです。検索機能がつけられるとのことですので、イベント情報のカレンダーがもっと充実していくと、より多くの市外の方々がアクセスし、シティプロモーションにつながっていくのではないのでしょうか。市内の方でも市内でお出掛けしたいということもあると思うので、そこが良いキラコンテンツに育っていくといいと思いました。ウェブは画像が必須だと思います。私もウェブサイトを運営していますが、なんでもいいので画像は入れるようにしています。制約があるとは思いますが、それを心掛けるだけで印象が全然違うと思います。

(加藤会長)

嶋田委員お願いします

(嶋田委員)

改めて、横浜市のウェブは大変難しいなと。自治体で比較しても日本で最も人口が多い地方自治体ですし、一般のホームページであれば関心や必要に応じて情報を取りに行くこともありますが、あらゆる立場の住民の方々がアクセスすることやスマートフォン、古い機種を使っている方もアクセスできる(ように)とか様々な検討した結果だと思いますが、いい意味でベーシックな体制じゃないかと。目的があれば、トップページから入りません。例えば、引っ越しなら「横浜市 引っ越し」で検索する。「横浜市 出産」とか、ふらっと「横浜市に何かあるかな」と見るならトップページだと思いますが、住民など必要に応じたユーザーの立場だとそういう入り方をしたいと思います。トップページからなのか、階層の3段階目からなのか。分析をスタートされる時期だと思うので、それが非常に重要だと思います。市民の方や市に関心を持った方が、いかに使いやすいか、目的のところに速くストレスなく辿り着けるか。必要な情報がそこにあるというのが重要なことだと思いますので。データが充実したところでまた意見を述べさせていただければと思います。

また、色々な部局が SNS で情報発信しています。Twitter を中心に Instagram、YouTube。それらが(現在の)トップページからだと、どんな SNS があるかわからないです。企業のポータルサイトだと、こういう SNS があるとか、せめて Twitter のロゴなどあったりしますが、SNS って非常時・災害時もそうですが、最新の情報を発信しやすく受け取りやすいと思いますので、トップページで認知させるような仕掛けが重要だと思います

ので、そのあたりも検討いただければと思います。

(塚田課長) **Twitter** 等のソーシャルメディアについては（ウェブサイト）改善検討委員会の中で、トップページで目立たせた方がいいのではという意見も出ていますので、今後どういう形が一番良いのか、我々の中でも検討していきたいと考えています。

(加藤会長) 杉本委員、先程の画像・イラストについてなど、何か御意見をお願いします。

(杉本委員) 外国人の方に対する多言語（対応）ですが、言語数に関して早速オープンデータを使って人口統計を見ってみました。中国・韓国の方が多いのは以前と変わらないと思うのですが、フィリピン、その次にベトナム、ネパールとなっています。最近は入管法の改正もあり、外国人の方たちの人口が4月に10万人を超えています。こうしたことを考えると、これまでの言語体制にベトナム語やタガログ語を加えていくなど、検討されてはいかがでしょうか。横浜市は多言語広報指針に緊急のときだけベトナム語を加えるというような決まりがあるようなので、そちらも変更の必要が生じるのではないのでしょうか。これから様々な方たちが増える中で全部の言語は難しいので、やさしい日本語で横浜市は対応していますが、上位の何か国語かについては、若干手厚い対応があってもいいかと考えています。

(加藤会長) 多言語化について、何か現状考えていることはありますか。

(大塚課長) 横浜市は外国人の方が非常に多くの国・地域からいらしているということもありまして、多言語ページのリニューアルに取り組んでいますが、対応できる言語数も増やしていかなくてはと考えています。ベトナムとかネパール出身の方が増えている一方で、横浜市のサイトはページ数が非常に多く全てを翻訳業者で翻訳することは現実的に難しいので、翻訳するところと機械翻訳のシステムも活用しながら対応できる言語数を増やしていきたいと考えております。また、やさしい日本語でも情報提供していきたいと考えています。

(加藤会長) 川井委員お願いします。

(川井委員) 横浜市は新市庁舎を建てますよね。新庁舎にも市議会ができます。我々が（市議会に）行った場合、市議会の人たちが発言する文字表示について横浜市の方から相談されました。（文字を大きくなど要望しましたが、）議員が何を言って、活動しているかを知ることは非常に重要ですが、それを聞くために毎回議会に行くのは大変です。市議会の様子を適時市のウェブに流していただきたい。ベースとして必要だと思います。工夫していただきたい。ウェブには必ず文字表示をして欲しい。手話だけの人は、手話通訳も貼りつけてというと思います。そのあたりをお願いします。

(加藤会長) 議会の様子をウェブに載せることの是非はいかがですか。

- (大塚課長) 映像は流していますが、(文字表示をすることは) 議会を担当している部局との調整になりますので、担当に伝えさせていただきます。
- (加藤会長) 春名委員お願いできますか。
- (春名委員) 毎日でも開いてみたくなるようなページを作ってもらいたいと。議会の話も最新のものを簡単に見られるような。トップニュースも市長が大々的に記者会見をしてお披露目したのに、それを知る手立てがなかなか(ない)。項目、検索を突き進んでいけば見られるのだろうが、なかなか見られない。わかりやすいページを作ってほしいなと思います。ウェブに疎いので、とんちんかんなことを聞くかもしれませんが、区の独自性が分からなくなっているのではないかという話もありましたけど、競う形にはできないですか。区の訪問者やアクセス数を測って、この区の広報が一番読まれているのだな、ではうちも頑張らなければいけないと。計算していけば、統一された中でも個性が出てくるのではと思うのですが。ウェブ全体のアクセス数もそうですが、個別の区のアクセス数を測ることはできませんか。
- (塚田課長) 区のトップページがどのくらい表示されているか、アクセス解析ソフトで調べることはできます。ただ、争うことが良いのかどうなのかというところは、別の視点かと考えています。
- (春名委員) 争うことだけになってしまうと本末転倒になってしましますが、より良いものにしていくには競い合うということも大事なのかなと思います。
- (加藤会長) 林田委員いかがでしょうか。
- (林田委員) 今回のリニューアルされたホームページは、まずとても見やすかったと思います。とてもきれいなホームページだなという印象は持っています。様々な目的を持った訪問者がいる中で、ある意味どなたにとっても等距離を保っているというというか。それぞれにもっとこうなればという思いを持ちながらも、とりあえず色々な方に等間隔を持ちながら対応できているホームページだなという印象です。ひっくり返せば、独自性がないとか、すっきりしすぎているかと。色々表裏があるわけですがけれども、ホームページとしてはデザインもとてもいいと思いましたし、そのように受け止めています。これからの改善に期待したいのは先ほども申しました点です。前の委員会でも発言したように思いますが、18 区版の広報よこはまをお送りいただいているので 18 紙目を通させていただいていますが、各区によって色々作り方が違って、色使いもそうですが誌面作りも違ってある意味私たちは楽しませてもらっています。好みの問題もあるかもしれないのですが、力が入っていると感じる区とそうでないところと、主観ですが比べてしまうような面はあります。ホームページも同じで、ホームページこそ、どなたでも 18 区見られます。広報紙は取り寄せなければ、あるいはどうにかしないと手に入らないですが、ホームページはどなたでも 18 区版が見られます。18 区全部開きましたけれど、違いをどうしても感じて

	しました。写真使いもそうですけれど。今後の期待の中に区局の管理者の方の努力に期待して、より良いホームページ作りをしていただければと思います。 (加藤会長) 残り時間も少なくなってきましたので、あとお一方。川井委員お願いします。 (川井委員) ウェブを作るには、ウェブアクセシビリティがあります。日本でも確か国際基準になっていたと思います。私はその委員会に入っていたので、その中のウェブ規定の中に、声だけでなく、声がするところにはアクセシビリティとして文字を入れてほしいと盛り込みました。ウェブ規定では（レベルが）A から AAA とあって、その中間レベルで動画の声が出るものは字幕をつけることとなっていて、YouTube みたいになりますが、YouTube は認識率が向上して良いと思います。そういうのを利用して字幕を付けてほしい。横浜市のウェブ規定がどういう規定かわかりませんが、AA のままだったら動画に字幕を付けるという規定になっているはずなので、その辺ご確認いただいて、是非動画には字幕をというのを実現してほしい。市議会の動画をどうするかわかりませんが、必ずつけてほしいと思います。 (加藤会長) 映像に字幕をつけるということに対してはいかがでしょうか (塚田課長) 今回のウェブサイトにつきましては、基本的に JIS 規格の AA に準拠させているというところですが、映像・画像に関しては 2019 年、今年度以降の対応ということで分けたいと考えています。今後進めて行きたいと考えていますので御了承ください。 (加藤会長) 長時間にわたって貴重な御意見ありがとうございました。多くの発言をいただきましたが、そろそろ終わりにさせていただきます。本日の議題以外に広報・広聴に関する御意見はございますか。 こちらをもちまして令和元年度第 1 回 横浜市広報企画審議会を閉会します。 (山岸部長) 事務局からの連絡事項
--	--

資 料	横浜市ウェブサイト リニューアルと今後の取組
-----	------------------------